議長定例記者会見／令和８年１０月１日（木）

○工藤議長
　それでは、第３２７回定例会の採決結果について御報告いたします。
　知事提出議案６４件のうち、議案２２件を可決・同意し、継続審査が７件、報告のみが３５件でした。
　議員発議案については、提出された８件のうち２件を可決し、６件が否決されました。
　請願・陳情については、受理された２件はいずれも不採択となりました。
　私からは以上です。

○記者
　今回の定例会では物価高対策など様々な事業を含む予算案が議決されましたが、補正予算の執行に当たって期待することについて伺います。

○工藤議長
　令和８年度９月補正予算については、県民生活や事業活動を支援するための物価高対策に係る経費や先に発生した地震、豪雪により被災した施設等の復旧及び避難所の機能強化に係る経費などが可決されました。今後は、事業が着実に実施され、県民の不安軽減につながることを期待しています。

○記者
　議員バッジが次回改選から貸与から交付に、そして材質を１８金製から金メッキ製に変更するなど見直しの動きがありますが、議員バッジの取扱いに対する見解について伺います。

○工藤議長
　今回、事務局から議員バッジの材質を変更する方針が示されましたが、議員バッジの材質によって、県民の負託を受けた証である議員バッジの重みは変わるものではないと考えています。

○記者
　知事が一般質問の冒頭で自身の進退に係る質問については明言しませんでしたが、任期が１年を切った時期でも進退表明がなかったことに対しての所感を伺います。

○工藤議長
　私からは何もありません。

○記者
　知事の任期は１年を切りましたが、知事と議会の関係性について伺います。

○工藤議長
　執行部と我々議員は両輪であり、両輪として関わっていますので、その点に関しての意見はありません。

○記者
　前知事からの変化とかそういうものも特段ないという感じですか。

○工藤議長

それはそれぞれの議員が感じていると思います。

○記者
国スポ・障スポ開催に向けての期待感や県民や選手に向けてのメッセージをお願いします。

○工藤議長
青の煌めき　あおもり国スポ・障スポについては、いよいよ１０月１０日の総合開会式が目前に迫ってきました。
県議会としても、大会を盛り上げ、成功に導くため、定例会の日程を調整するとともに、開会日の国スポ・障スポ　ネクタイ・スカーフ着用やＰＲグッズの議場内配置など、機運醸成を図ってきました。
全国から集う選手の皆様が、これまで積み重ねてきた努力の成果を存分に発揮できるよう、そして、全国各地から来県される皆様、県民の皆様が共に青の煌めき　あおもり国スポ・障スポを大いに楽しみ、素晴らしい大会となるよう、県議会としても最大限の協力をしていきたいと考えています。

○記者
議員の海外派遣について、ルールに基づいてやっていると思うが、現在の物価高騰等を踏まえ変更したほうがよいと思うような点などないか、議長の考えを伺います。

○工藤議長
金額の上限はルールどおりでよいと思います。燃料サーチャージ等の高騰分はいろいろ加味されてしかるべきと思いますが、本県ではルールで決まっていることなので、それに従うだけです。

○記者
今後、ルールの改正に向けて協議したほうがよいとかという考えはありますか。

○工藤議長
現行のルールでよいと思います。